

東京女子大学

もりもと

森本 あんり

東京女子大学 学長



茂里一紘前学長の任期満了に伴い、4月1日付で森本あんり氏が学長に就任した。任期は4年。森本新学長は1956年生まれ。1979年国際基督教大学教養学部卒業。プリンストン神学大学修了(Ph.D.)。専門は、神学・宗教学・アメリカ研究。近著に『不寛容論』(新潮社、2020年)『異端の時代』(岩波新書、2018年)『反知性主義』(新潮社、2015年)等がある。

前職の国際基督教大学では、学務副学長を8年間務めたほか、湯浅八郎記念館長、ロータリー平和センター

長などの要職を歴任し、教
学行政の豊かな経験を持つ。
授業は学生に人気が高く、
履修は長い順番待ちという。
ここ数年は、夏も冬も愛犬と
の散歩で朝を始めるのを日
課としている。

新渡戸稲造以来100年
以上の歴史をもつ大学の学
長として、キリスト教を基盤
とするリベラル・アーツ教育
のより一層の充実を目指す。
大学を知る教職員の声を聞
きつつ、グローバルな視点か
ら変動する今の時代にふさ
わしい女子大学の教育を新
たに展開できるような力を尽
くしていく。

私立大学と社会をつなげる
大学情報検索サイト



知りたい!! 個性が光る取り組みサーチ

私立大学 1・2・3



Webサイトはこちらから ▶▶▶ <https://topics.shidairen.or.jp>

こんなときありませんか?

- ▶ 特色ある教育、最新の研究を行っている大学の事例を知りたい。
- ▶ 共同研究・開発を考えているが、実績のある大学を知りたい。
- ▶ 近隣で地域貢献、地域連携に取り組んでいる大学の事例を知りたい。
- ▶ 各大学の取り組みを一覧で見たい。

「私立大学1・2・3」は私大連加盟大学が発信した
多様で魅力・特色ある活動・取り組みを、
大学名はもちろん、地域や取り組み内容、実施体制、
連携状況、キーワードなどから検索できます。

高橋 圭三(たかはし けいぞう)

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学学長。'98兵庫教育大学院修了。'16香川大学院修了、博士(医学)。'19より現職。主著『障害児療育の相談支援』ほか。

三谷 高康(みたに たかやす)

学校法人広島女学院院長、広島女学院大学学長。'83アンドーヴァー・ニュートン神学院博士課程修了。宣教学博士。桜美林大学学長等を経て、'21より現職。

森下 哲朗(もりした てつお)

上智大学法学部教授。'94東京大学法学政治学研究科経済法務専修コース修士課程修了。修士(法学)。株式会社住友銀行を経て、'99より上智大学。

熊谷 嘉隆(くまがい よしたか)

国際教養大学理事・副学長。'01オレゴン州立大学森林学部博士課程修了。ワシントン州立大学農学家政学部研究員を経て、'04より本学勤務。'19 8月より現職。

丸楠 恭一(まるくすき よういち)

関西学院大学副学長・国際連携機構長、国際学部教授。'82東京大学卒業。'88プリンストン大学大学院修了。MPA、博士(政策科学)。

三菱総合研究所、目白大学等を経て、'10より関西学院大学。

倉林 眞砂斗(くらばやし まさと)

城西国際大学副学長、観光学部教授。'86東京大学大学院人文科学研究科博士課程退学。修士(考古学)。金沢大学を経て、'92より現職。主著『石棺と陶棺』等。

山田 健太(やまだ けんた)

専修大学文学部(ジャーナリズム学科)教授。'84青山学院大学卒業。専門は言論法、ジャーナリズム研究。近著『沖繩報道』『法とジャーナリズム 第四版』。

竹村 彰通(たけむら あきみち)

滋賀大学学長。'82スタンフォード大学統計学科Ph.D.;東京大学を経て、'17データサイエンス学部長、'19DS研究科長(兼任)。'22より現職。主著『多変量推測統計の基礎』等。

椎名 洋(しいな よう)

滋賀大学データサイエンス学部長。'92東京大学大学院経済学研究科単位取得退学。'04経済学博士。信州大学を経て、'20DS学部教授。'22より現職。

笛田 薫(ふえだ かおる)

滋賀大学データサイエンス・A Iイノベーション研究推進センター長。'01九州大学院博士号(数理学)取得。岡山大学を経て、'17DS学部教授、'20前身のセンター長、'22より現職。

長谷川 敦士(はせがわ あつし)

武蔵野美術大学造形構想学部クリエイティブイノベーション学科学科主任教授、株式会社コンセント代表。'01東京大学院総合文化研究科博士課程修了。学術博士(認知科学)。

小秋元 段(こあきもと だん)

学校法人法政大学常務理事。法政大学副学長・データサイエンスセンター長。'95慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得退学。博士(文学)。

樋口 知之(ひぐち ともゆき)

中央大学理工学部教授。'89東京大学理学系研究科博士課程修了理学博士。統計数理研究所所長を経て、'19中央大学着任、'20より中央大学A I・データサイエンスセンター所長。専門はベイズ統計学。

佐藤 元哉(さとう もとや)

芝浦工業大学附属中学高等学校校長。'81

獨協大学外国語学部英語学科卒業。芝浦工業大学柏中高、同大学附属中高教頭補佐、教頭を経て'21 4月より現職。

郡司 賀透(ぐんじ よしゆき)

静岡大学教育学部准教授。'05筑波大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。博士(教育学)。主著『理科教育における化学工業教材の意義と変遷』。

片野 光男(かたのみつお)

学校法人福岡女学院理事長。'15より同看護大学学長。九州大学医学部卒業。同大学医学研究院長、医学部長などを歴任。専門は消化器外科。'21より現職。

中川 淳司(なかがわじゅんじ)

中央学院大学現代教養学部教授・同社会システム研究所長。'79東京大学法学部卒業。東京大学法学博士。東京工業大学、東京大学を経て'19より現職。

古屋 秀樹(ふるやひでき)

東洋大学国際観光学部教授。'93東京工業大学大学院理工学研究科社会工学専攻修了。博士(工学)。筑波大学講師などを経て'08より現職。前地域活性化研究所所長。

小島 和貴(こじまかずたか)

桃山学院大学法学部教授。慶應義塾大学大学院法学研究科後期博士課程単位取得退学。博士(法学)。専門は行政学。'19より総合研究所所長。

安齋 利典(あざいとしのり)

札幌市立大学デザイン学部教授、博士(工学)。同大学地域連携研究センター長('19-'21)。三菱電機デザイン研究所、同宣伝部ウェブサイト統括センターなどを経て'15より現職。

中世古 貴彦(なかせこたかひこ)

九州産業大学基礎教育センター講師。'19九州大学大学院人間環境学府単位取得退学。博士(教育学)。'19より現職。

西村 幸夫(にしむらゆきお)

國學院大学観光まちづくり学部長・教授。'82東京大学大学院工学系研究科博士課程単位取得退学。工学博士。東京大学等を経て、'20より國學院大学。主著『京都物語』等。

西川 哲夫(にしかわてつお)

武蔵野大学工学部数理工学科教授。'82九州大学大学院理学研究科修士課程修了。博士(工学)。東京大学にて取得。日立製作

所などを経て'15より現職。

木下 昌美(きのしたまさみ)

妖怪文化研究者。'87福岡県生まれ。'10同志社女子大学学芸学部日本語日本文学科卒業。'12奈良女子大学人間文化研究科(現・人間文化総合科学研究科)博士前期課程修了。

脇浜 紀子(わきはまのりこ)

京都産業大学現代社会学部教授。神戸大学法学部卒。'90読売テレビ入社。'10大阪大学大学院国際公共政策博士号取得。研究分野は地域メディアと地域情報。

〈お断り〉本稿は、お書きいただいた資料から、できる限り統一して掲載いたしました。

私大連フォーラム2021
「複雑化する社会における社会人の
学びの新たな潮流とリカレント教育」
の配信

リカレント教育は、いま国や企業から
高い関心が寄せられている教育の一つで
す。日本私立大学連盟では、リカレント
教育に対する認識と理解の深化、リカ
レント教育促進のための課題について
考えるべく、私大連フォーラム2021
「複雑化する社会における社会人の学
びの新たな潮流とリカレント教育」を
オンデマンド配信により無料公開して
います。

全3部構成ですが、各話完結した内
容となっていますので、関心あるテー
マを選んでご視聴いただけます。

▼私大連フォーラムは私大連公式YouTube
チャンネルよりご覧いただけます。

私大連公式YouTubeチャンネル



会長の動き

- 3月1日(火) 第12回常務理事会に出席(ハイブリッド開催)
- 3月4日(金) 全私学連合代表者会議に出席(オンライン)
- 3月7日(月) 自由民主党インナー会議「学校法人のガバナンス改革に関する打合せ」のヒアリングに出席
- 3月9日(水) 文部科学省「第4回学校法人制度改革特別委員会」に出席(オンライン)
- 3月11日(金) 日本学術会議会長等との意見交換に出席
- 3月15日(火) 経団連産学協議会「採用・インターンシップ分科会打合せ」に出席(オンライン)
- 3月16日(水) 経団連産学協議会「採用・インターンシップ分科会」に出席(オンライン)
- 3月17日(木) 文部科学省「第5回学校法人制度改革特別委員会」に出席(オンライン)
- 3月22日(火) 第10回理事会・第3回総会に出席(ハイブリッド開催)

文部科学省「第6回学校法人制度改革特別委員会」に出席(オンライン)

3月28日(月)

内閣官房デジタル田園都市国家構想会議事務局に「東京23区における大学規制に関する要望」を要望、説明

文部科学大臣に「私大連の要望」として、1)東京23区の大学定員規制の撤廃・緩和、2)文理融合を進める大学入試の推進の2点を説明

4月4日(月)

経団連産学協議会打ち合わせに出席

4月12日(火)

松野官房長官来訪対応

4月18日(月)

経団連産学協議会に出席(オンライン)

4月19日(火)

第1回常務理事会・第1回理事会に出席(ハイブリッド開催)

開催報告

4月4日(月)

経営委員会主催説明会「私立学校のガバナンス改革について―学校法人制度改革特別委員会のとりまとめ―」(オンライン開催)

社会の発展を支える
私立大学理工系分野
―教育の充実に向けた課題と取組―

理工系分野の教育研究推進プロジェクトでは、急速な社会の変化に対応しうる人材育成の強化に係る課題と提言、また加盟大学の特色ある取組事例をまとめました。

グローバル教育の拡充
―国際教育・連携の視点から―

国際連携委員会では、環境やテクノロジー、人口動態等の世界的な変化を予測して、長期的視点に立った人材育成の課題について、課題整理を行いました。



▼各資料や開催の概要は、下記の私大連Webサイトをご覧ください。



私大連Webサイトにて各種活動に関する情報を公開
<https://www.shidairen.or.jp/>



国や企業が関心を寄せる
大学のリカレント教育、
あなたはご存知ですか？



私大連フォーラム

複雑化する社会における社会人の学びの新たな潮流と

リカレント教育

YouTubeにて
視聴無料



- 配信動画 -

第一部 リカレント教育って何？

[講師] 矢口悦子氏 (東洋大学学長、私大連常務理事)

第二部 リカレント教育を取り巻く状況

◆Session1

リカレント教育における大学の悩みと課題

[講師] 矢口悦子氏 (東洋大学学長、私大連常務理事)

◆Session2

社会人の学び直しの取り組みにおける
国際比較とその課題

[講師] 本田由紀氏 (東京大学大学院教育学研究科教授)

◆Session3

企業が大学に期待するリカレント教育

[講師] 長谷川知子氏 (日本経済団体連合会常務理事)

第三部 これからの時代に求められる 大学のリカレント教育

[パネリスト]

村田治氏 (関西学院大学学長、私大連副会長)

渡辺顕修氏 (甲南大学法科大学院教授、リカレント教育センター所長)

坂本清恵氏 (日本女子大学生涯学習センター所長)

[コーディネーター]

矢口悦子氏 (東洋大学学長、私大連常務理事)

これからの時代は、学校教育段階の学びで得た知識にとどまるのではなく、恒常的なスキルアップや知識のアップデートを行い、生涯にわたり学び続けることが強く求められます。

いま国や企業から関心が寄せられる大学のリカレント教育について、その現在地を確認するとともに、これからの社会の形に応じたリカレント教育のあり方について、私立大学の特色である多様性の視点から考えます。



▶ YouTube
私大連チャンネル

座談会 「大学におけるダイバーシティ推進の取り組み」

特集 「大学のサイバーセキュリティの現状」

小特集 「大学におけるIRの活用事例」

だいがくのたから

宮城学院女子大学

大学点描

京都橘大学

クローズアップ・インタビュー

柴野大造さん(株式会社マルガー代表取締役)

編集後記

◆教養科目を修め、幅広い知見を身につけた上で、専門科目を積み上げていく。そんな基礎を強固にしてから専門性を高めていく学びが当たり前だと思っていた。しかし、本特集で紹介されている各大学でのSTEAM教育への取り組みを拝読すると、全く逆の学びのアプローチがあることに気づく。

また、文系、理系の枠を超えた学び、学部横断型でのプロジェクトの取り組みなど、あらゆる場面で多様性が促進されている。変化の速い現代に柔軟に対応できる人材育成とは、多様な現状を受け入れ、様々なアプローチで学びを深め、実践できる力を養うことなのかもしれない。

本特集が、単にSTEAM教育に関する取り組みの事例紹介としてではなく、今後の学びや人材育成の在り方を改めて考える契機となることも期待したい。〈広報・情報委員会 大学時報分科会委員・法政大学 多摩事務部多摩事務課課長 須藤 智徳〉

◆ネットワークへの常時接続に馴染んでいる若者世代の新しい人間関係

が昨今話題となっている。友人との位置情報の常時共有やそこまで知り合っていない人々と声だけで長時間つながっている感覚を10年前我々はどれほど想像できただろうか。ICTの進歩は既存のコミュニティの崩壊をもたらす一方、新しいコミュニティを生み出している。それが今後も繰り返されるのだろうか。

さて、地域との取り組みでは、高齢化や人口減少の問題が共通して見えてくる。コミュニティの崩壊につながりかねないこの状況に対し、知の集積地であり創造の場である大学は、どのような役割を担うのか。「進化するテクノロジーが人々の生活をいっそう豊かにしていく」というDXはどこまで影響を与えるのか。若者世代との共創が鍵になるだろう。10年後、大学と地域との関わりは発展していると確信している。

位置情報の共有はまだ馴染めていないが、最後まで時代の潮流を捉え、微力を尽くしていきたい。〈広報・情報委員会 大学時報分科会委員・関西大学総合企画室広報課長 依藤康正〉

◆2020年度海外留学が前年度比で98.6%減少、1487人にとどまった(日本学生支援機構調査)。日本への留学生における入国待機者は16万人にのぼると言われているが、ようやく受入・派遣留学希望者の願いが叶えられつつある。

クローズアップ・インタビューでは、妖怪文化研究家の木下昌美さんにお話を伺った。妖怪を生み出した人とお話を通じた。妖怪を生み出して、妖怪と共に「冒険」を続ける木下さんのお話から、様々な出会いや体験が、より深みを増す学びへと繋がっていることを感じる。座談会では、海外交流の新しい形をテーマとした。留学の経験、多文化共生キャンパスでの学びも、まさに冒険に通ずるものだろう。

コロナ禍当初から、ウイズコロナ、ポストコロナ等の表現はあったが、留学という一面を見ても、これまでの経験を活かした新たな価値観を創り出す時期を迎えている。3年目の春、大学での学びを通じた新たな冒険が始まろうとしている。〈日本私立大学連盟事務局 加賀崎奈美〉

一般社団法人 日本私立大学連盟 加盟大学一覧

※ 大学名ABC順 / ※ } は同一学校法人 (123大学 令和4年5月20日現在)

愛知大学	関西大学	南山大学	園田学園女子大学
亜細亜大学	関西学院大学	日本大学	大正大学
青山学院大学	関東学園大学	日本女子大学	拓殖大学
跡見学園女子大学	関東学院大学	ノートルダム清心女子大学	天理大学
梅花女子大学	慶應義塾大学	大阪学院大学	東邦大学
文教大学	恵泉女学園大学	大阪医科薬科大学	東北学院大学
筑紫女学園大学	敬和学園大学	大阪女学院大学	東北公益文科大学
中央大学	神戸女学院大学	大谷大学	東海大学
中央大学	神戸海星女子学院大学	追手門学院大学	常磐大学
大東文化大学	皇學館大学	立教大学	東京医療保健大学
獨協大学	國學院大学	立正大学	東京女子大学
獨協医科大学	国際武道大学	立命館大学	東京女子医科大学
姫路獨協大学	国際基督教大学	立命館アジア太平洋大学	東京経済大学
同志社大学	駒澤大学	龍谷大学	東京国際大学
同志社女子大学	甲南大学	流通科学大学	東京農業大学
フェリス女学院大学	久留米大学	流通経済大学	東京情報大学
福岡大学	共立女子大学	西武文理大学	東京歯科大学
福岡女学院大学	京都産業大学	聖学院大学	東洋大学
福岡女学院看護大学	京都精華大学	成城大学	東洋英和女学院大学
学習院大学	京都橘大学	聖カタリナ大学	東洋学園大学
学習院女子大学	九州産業大学	成蹊大学	豊田工業大学
白鷗大学	松山大学	西南学院大学	津田塾大学
阪南大学	松山東雲女子大学	聖路加国際大学	和光大学
広島女学院大学	明治大学	清泉女子大学	早稲田大学
広島修道大学	明治学院大学	聖心女子大学	山梨英和大学
法政大学	宮城学院女子大学	専修大学	四日市大学
実践女子大学	桃山学院大学	石巻専修大学	四日市看護医療大学
上智大学	桃山学院教育大学	芝浦工業大学	
城西大学	武蔵大学	白百合女子大学	
城西国際大学	武蔵野大学	仙台白百合女子大学	
順天堂大学	武蔵野美術大学	昭和女子大学	
金沢星稜大学	名古屋学院大学	創価大学	

大学時報

University Current Review

2022/5月号

第71巻404号(通巻417号)

令和4年5月20日発行

編集人 音好宏(上智大学文学部教授)

発行人 植木朝子(同志社大学学長)

発行所 一般社団法人 日本私立大学連盟

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
私学会館別館

電話 03-3262-8672 FAX 03-3262-4363

<https://www.shidaiaren.or.jp>

編集 株式会社 WAVE

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-3-20

明治安田生命大阪梅田ビル3階

〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-9

KEC銀座ビル9階

松田美佐(中央大学文学部教授)
須藤智徳(法政大学多摩事務課課長)
中山映(上智大学総務局SGU事業推進室長)
依藤康正(関西大学総合企画室広報課長)
楊心来(関西学院広報室広報室長)
塩原良和(慶應義塾大学法学部教授)
江津英昭(明治大学経営企画部広報課長)
長野香(立教学院広報室長)
立岩健一(立命館大学総合企画部広報課長)
山田健太(専修大学文学部教授)
高橋慈海(大正大学魅力化推進部長)
大谷奈緒子(東洋大学社会学部教授)
五十嵐俊也(津田塾大学経営企画課課長)
鈴木宏隆(早稲田大学広報室長)
齋藤淳(日本私立大学連盟事務局)
加賀崎奈美(日本私立大学連盟事務局)
佐藤諒(日本私立大学連盟事務局)
森下真帆(日本私立大学連盟事務局)

